

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』

～ 柴田 顕正 ～

1873年（明治6年）～1940年（昭和15年）

愛知県岡崎市出身。教育者。文化人。

代表作「岡崎市史」「徳川家康と其周囲」。

岡崎市名誉市民。岡崎市功労者。

愛知県岡崎市の徳川家康公ゆかりの伊賀八幡宮宮司・柴田顕光（歌人）の長男として誕生。中学校教師を勤めるかたわら、郷土の歴史に関心を持ち、1918年（大正7年）千賀又市（初代岡崎市長）を会長に、旧岡崎藩士らと「汲古会」を結成し、編集主任となり史料収集に努めました。

1919年（大正8年）2代目岡崎市立図書館長就任。

1921年（大正10年）岡崎市より市史編纂の仕事を依頼され「岡崎市史」全8巻と、別巻「徳川家康と其周囲」全3巻を1935年（昭和10年）に完成し、全国的にも高い評価を得ました。「徳川家康と其周囲」は山岡荘八の代表作「徳川家康」の資料となった事でも有名です。

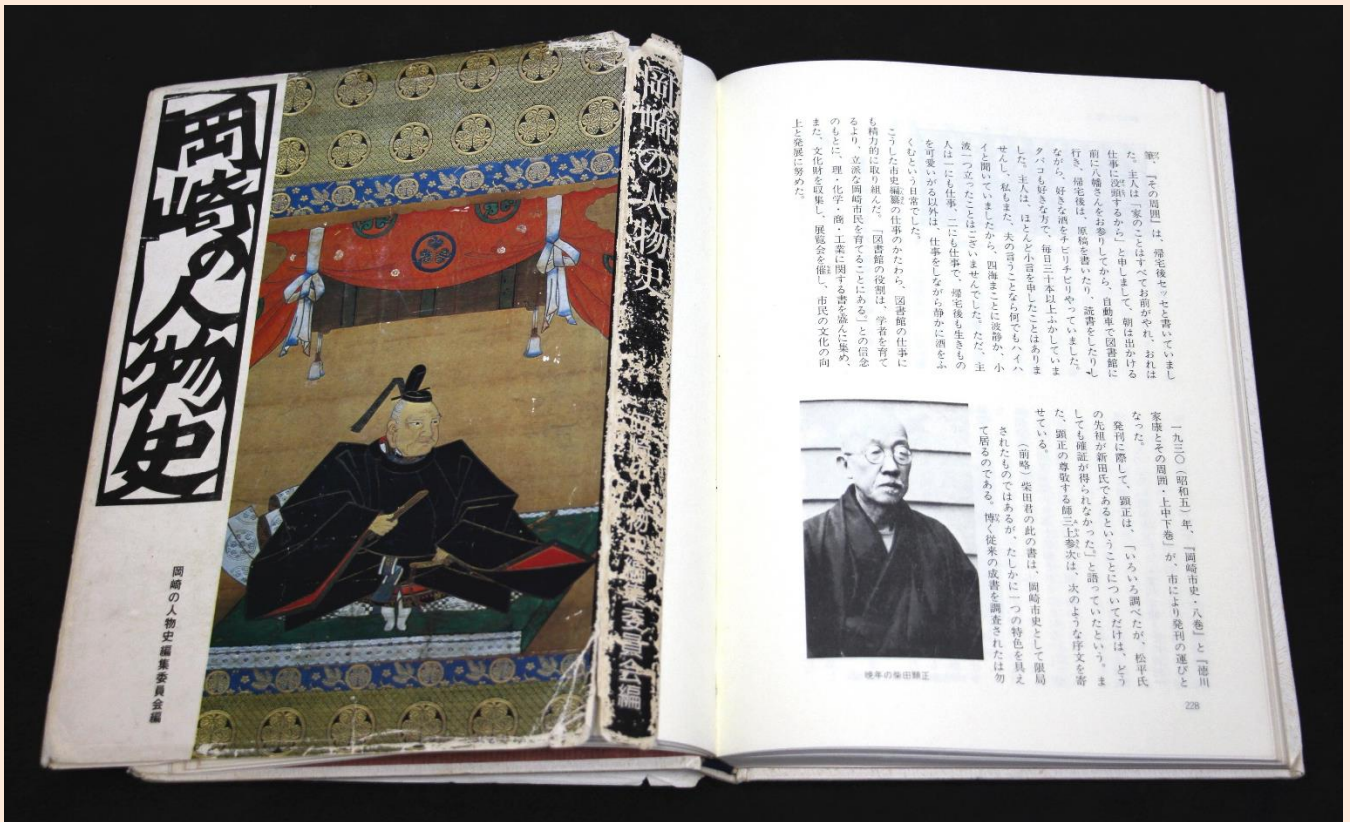
なお、柴田顕正が最も心血を注いだといわれる「人物篇」全3巻の原稿は、刊行前に1945年（昭和20年）の岡崎空襲で焼失してしまい大変惜しまれています。

岡崎公園内に1933年（昭和8年）に岡崎市義勇火防団が建立した「東照公産湯井の碑」の撰は柴田顕正、書は岡田撫琴です。

岡崎市十王町の西本願寺三河別院に1931年（昭和6年）に岡崎納札会が建立した「浄瑠璃姫観月遺跡」があり、「納札塚」の揮毫は柴田顕正によるものです。

当社史料室には大正時代から昭和時代の「柴田顕正」から頂いたハガキや汲古会の資料が残っています。

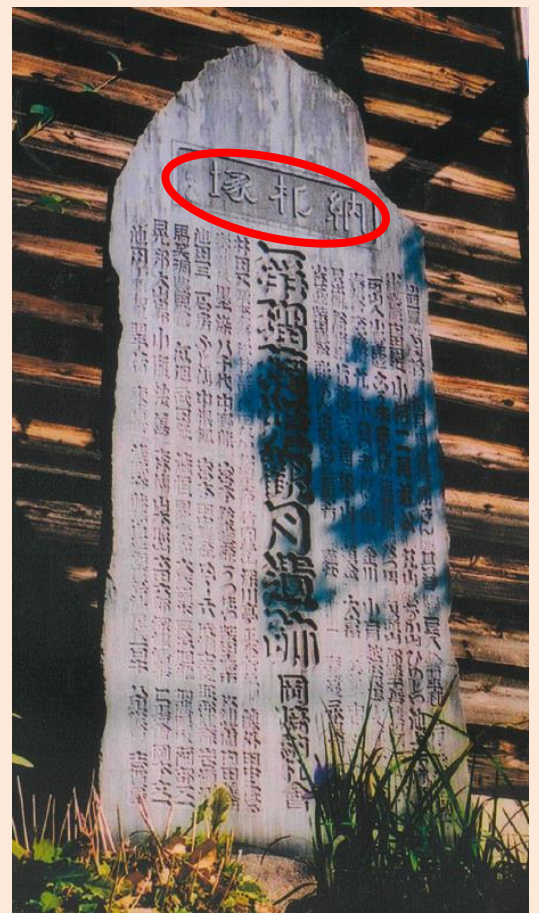
「山岡荘八」「岡田撫琴」については「カクキューの八丁味噌を愛した著名人」の「山岡荘八」「岡田撫琴」をご覧ください。



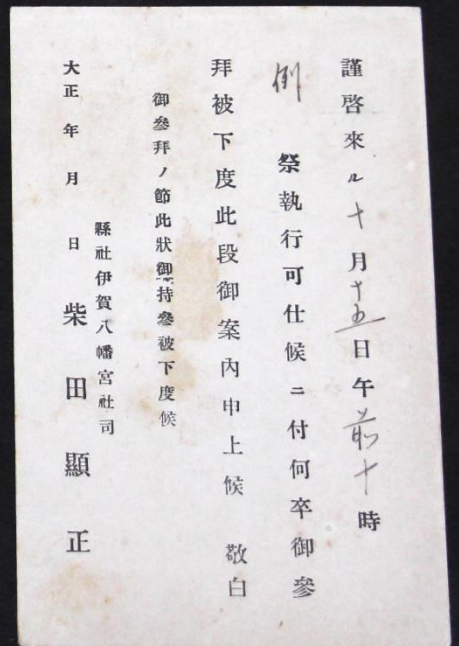
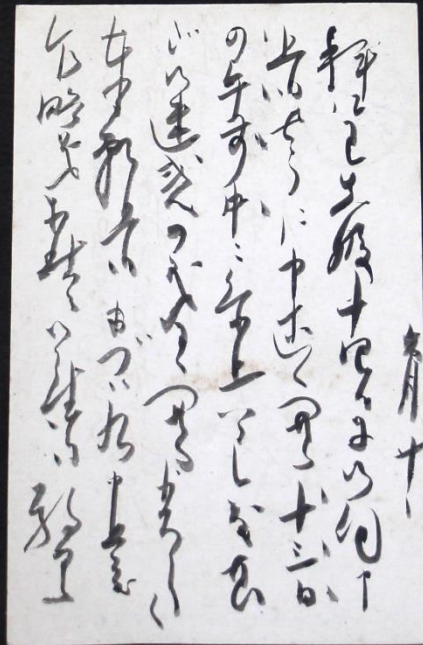
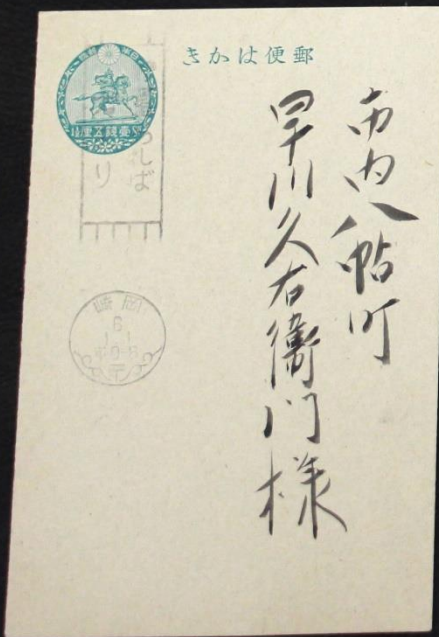
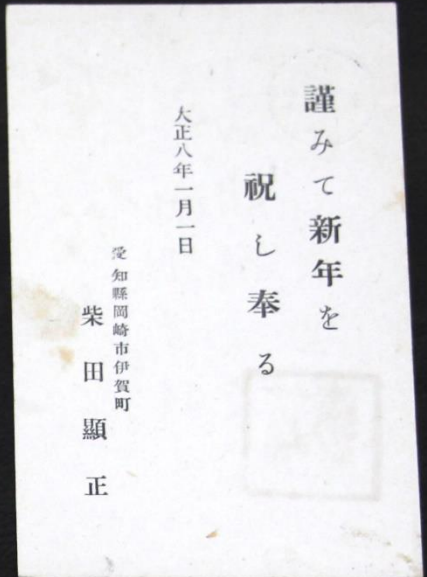
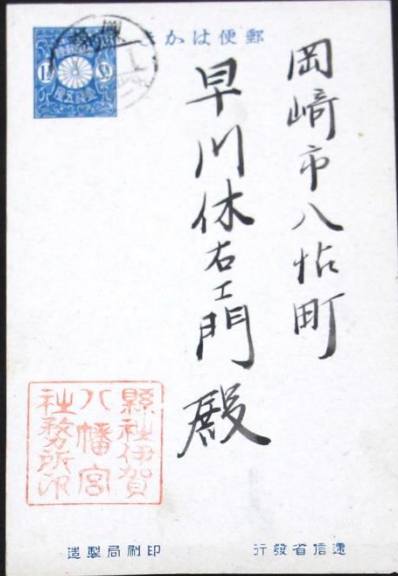
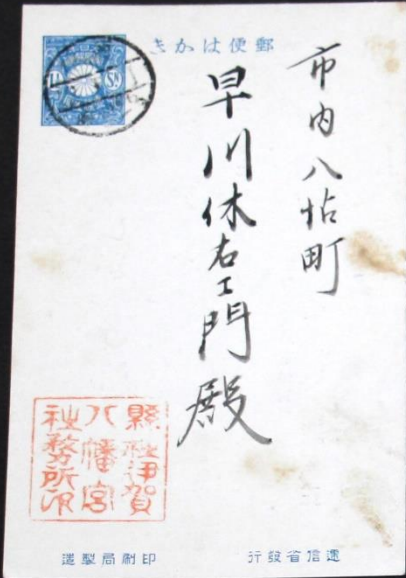
柴田顕正の肖像（「岡崎の人物史」(昭和54年1月5日) P228より)



柴田顕正の手掛けた「岡崎市史」と「徳川家康と其周囲」



浄瑠璃姫観月遺跡
 (「納札塚」の揮毫は柴田顕正による)



柴田顯正から届いたハガキ (大正~昭和時代)



汲古会から届いた案内状など（大正時代）